

令和6年第2回（6月招集）袖ヶ浦市議会定例会

一般質問日程

質問順	議員名	質問予定日
1	木村 淑子	6月12日（水）午前10時30分頃
2	湯浅 榮	6月12日（水）午後1時15分頃
3	塚本 幸子	6月12日（水）午後2時15分頃
4	吉岡 淳一	6月12日（水）午後3時15分頃
5	笹生 猛	6月13日（木）午前9時30分頃
6	佐藤 博文	6月13日（木）午前10時30分頃
7	緒方 妙子	6月13日（木）午後1時15分頃
8	篠崎 典之	6月13日（木）午後2時15分頃
9	稲毛 茂徳	6月14日（金）午前9時30分頃
10	励波 久子	6月14日（金）午前10時30分頃
11	伊東 章良	6月14日（金）午後1時15分頃
12	佐藤 麗子	6月14日（金）午後2時15分頃
※時間は目安です。議事の進行により前後することがあります。		

令和6年第2回（6月招集）袖ヶ浦市議会定例会
市政に関する一般質問通告者一覧表

12名 28件

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	5番 木村 淑子議員	1 2050年 カーボン ニュートラル の実現に向け ての取組につ いて	(1) 本年3月22日に「袖ヶ浦市カーボン ニュートラル宣言」を発表した市長の決意 を伺います。
			(2) 環境省が示した脱炭素につながる新しい豊 かな暮らしを創る国民運動「デコ活」につ いて、本市でも積極的に取り組み、市民に 周知しないか伺います。
			(3) 資源を無駄にせず循環させる「サーキュ ラーエコノミー（循環経済）」について、 本市の認識と現在の取組を伺います。
			(4) 環境を考慮した学校を含む公共施設の整備 推進について、本市の考えを伺います。
		2 有害鳥獣対策 について	(1) イノシシ等の有害鳥獣の駆除を委託してい る地域対策組織に対して、本市が行ってい る支援を伺います。
			(2) 本市におけるICTを活用した有害鳥獣対策に ついて具体的に伺います。
			(3) 捕獲鳥獣のジビエ利用について本市の考え を伺います。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
2	8番 湯浅 榮議員	1 袖ヶ浦市の人口減少抑制策について	人口戦略会議による全国1, 729自治体の持続可能性分析結果リストが発表された。本市は、消滅可能性自治体には分類されなかったが、9分類中その他の自治体に当てはまり、自然減対策が必要と指摘された。 人口減少に歯止めをかけるのは容易ではない。手をこまねいていれば日本全体が衰退してしまう。国も漸く少子化対策に動きつつも少子化に歯止めはかかりそうにない。地方自治体も協力し少子化対策に総力を挙げる必要がある。 本市の場合、自然減対策が必要ということで、出生数を増やす必要がある。まずは安心して子供を出産できる環境を整える、そのためには出会いの創出と結婚が必要、更には住む家が必要、更には出産費用や医療費、教育費の負担軽減対策などが欠かせないを考える。 本市の人口の予想は、令和13年度末まで65, 000人を維持する計画であると理解しているが、どのような施策を打つのか伺う。
		2 小中学校のGIGAスクール構想と宿題のあり方について	政府は、2019年度以降、小中学生全員にタブレット等の学習用端末を1台配る「GIGAスクール構想」を推進してきた。袖ヶ浦市もこの構想を推進してきた。 全国の小中高校のうち、文部科学省が推奨するインターネットの通信速度を満たしていない学校が、全体の8割に上ることが文部科学省の調査で分かったとしている。 学校の規模が大きいほど通信環境が悪くなる傾向も明らかになったとしている。通信速度が遅かったり、接続ができなかったりすれば授業の妨げとなる。 本市の場合、蔵波小学校や奈良輪小学校は比較的規模の大きな学校の部類に入る。 次の2点について伺う。
			(1) 本市小中学校のインターネットの通信速度が文部科学省の推奨する通信速度を満たしているか。
			(2) タブレットの耐用年数と修繕状況及び更新に向けた国の補助制度について
			日本での宿題の始まりは明治時代の1900年初頭とされ、日本の学校教育の習慣として根付いてきた。GIGAスクール構想が定着した昨今は調べ事が容易になり多様な価値観を生み出している。学習環境も大きく様変わりしている。 本市では、宿題についてどのようにとらえているか。加えて、生徒児童への宿題の現状について伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
3	22番 塚本 幸子議員	1 高齢者福祉について	(1) 本市では、令和6年3月末現在の65才以上の高齢者は17,887人で、そのうち長浦地区が最も多く7,470人で、高齢化率は平岡地区が最も高く42.67%となっている。また令和5年7月現在、市内の70歳以上の一人暮らし高齢者世帯は3,131世帯、70歳以上のみで構成されている世帯は2,522世帯で5,062人であり、したがって、合計5,653世帯8,193人が70歳以上のみの世帯となっている。政府は、頼れる身寄りのいない高齢者が直面する課題を解決しようと新制度の検討を始めた。本市の日常生活から死後対応まで継続的に支援する取組はどうなっているのか。また今後も安心して住み続けられる取組をどのようにして実施していくのか伺う。 (2) 令和6年の政府データでは、65歳以上の「孤独死」が年間68,000人と推計され、国も孤独死の確率は、今後確実に高まると予測している。本市の「孤独死・孤立死」の実態と、その対応策はどうなっているのか、伺う。 (3) 2040年には、65歳以上の高齢者のうち、およそ3人に1人は認知症か、その前段階の軽度認知障害になるという推計を厚生労働省が公表した。本市の現状の取組と、今後の対応策を伺う。 (4) 今年度は、昭和・根形地区地域包括支援センター事業者選定の年だが、先行して実施した長浦地区、平川地区の実績と課題を伺う。また、事業者選定をどのような考えのもとに行うのか伺う。 (5) 実施計画において、高齢者見守りネットワーク事業概要では、5年度は見守り対象者の拡大検討・調整とあり、6年度は見守り対象者の拡大とある。5年度の検討、調整をどう6年度に反映させているのか。また、具体的にどのように拡大されたのか伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		2 学校給食費無償化について	少子化が進行する中で、出産をためらう理由として、一番に上げられるのが経済的な負担であり、そのため経済的な負担を少しでも低減することが少子化を改善することにつながる。そこで、子どもたちに一番公平に支援がいきわたるのが給食費の完全無償化と考えるが、学校給食費の完全無償化を検討しないか伺う。
		3 公共施設等の活用、見直し策、公共施設跡地の利活用について	公共施設は市の経済的理由だけで、今井幼稚園跡地のように安易に売却すべきではない。統合した幽谷分校、今後閉鎖する予定の吉野田保育所、中川幼稚園の公共施設等の利活用について、地元や市民の意見を聞き有効活用することが望ましいと思うが、どのようにするのか伺う。
		4 広報そでがうらについて	(1) 紙面を刷新し月1回の発行にしたが、市民に必要な情報やお知らせをどのように工夫し、また様々な市民にどう配慮しているのか伺う。
			(2) キミが主役の広報紙とあるがキミという言葉を使っている理由を伺う。
		5 地域の均衡ある発展と環境を守る取組について	本市のまちづくりと人口増加は、昭和地区と長浦地区の一部に偏っている。一方、平岡、中富、根形地区は、公共施設は縮小され、人口減少と高齢化が進み、かつ、金属スクラップ保管場や残土埋立てなど課題を抱えている。本市の地域の均衡ある発展と住民の環境を守る取組をどのように考えているのか伺う。
4	17番 吉岡 淳一議員	1 水道事業統合の効果について	(1) 統合合意より10年間の補助金を受けて、現在のかずさ4市の老朽管比率、耐震化適合率を問う。 (2) 市長は市民負担が大きい統合の効果をどのように考えているか。 (3) 経営統合から離脱して施設の共同利用、給水だけ受ける方向に転換すべきだが、市長の考えを問う。 (4) 小櫃川水源地付近にある大規模産業廃棄物処理施設を運営する事業者とかずさ水道広域連合企業団は過日協議書を交わしているが、その協議の内容を問う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		2 温暖化対策について	(1) 3月22日に宣言した「2050年カーボンニュートラル宣言」をどう具現化していくか。排出ゼロに向けた市、事業者、市民の取組をどう主導していくかを伺う。 (2) 富津市でも同宣言を発し、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、かずさ4市の足並みが揃った。建設計画の君津地域広域廃棄物処理施設の温暖化ガス排出削減に向けたさらなる取組が必要であるが、排出削減に向けた本市の取組を伺う。
5	20番 笹生 猛議員	1 袖ヶ浦市が持続可能であるための地域社会づくりについて	袖ヶ浦は昭和46年の合併以降、人口増加が続いている。その傾向は日本の総人口が減少に転じた2009年以降も続いている。その背景は市街化調整区域の小規模開発が積極的に行われたからである。さらに近年では袖ヶ浦駅北口の大規模開発が行われ、今後もしばらくこの状態が続いていくと考えられる。 このような新しい地域でも以前からある地域でも「地域社会の担い手」の問題は共通している。自治会だけでなく各種団体の役員など、地域づくりに大きく貢献してきた組織のメンバーや各種団体の役員になる人が少なくなってきたことが地域社会に与える影響は大きいと考える。 袖ヶ浦市が持続可能であるための地域社会のあり方、行政との関係について、現状と今後の方向性を伺う。
		2 袖ヶ浦駅西側地区のまちづくりについて	袖ヶ浦駅西側の開発は、地権者の有志10名で組織された袖ヶ浦駅西側地区まちづくり準備会が立ち上がり、本格的に動き始めた。 今後の展開について伺う。
6	2番 佐藤 博文議員	1 地域公共交通事業について	(1) 袖ヶ浦市が目指す地域公共交通事業の在り方について ① 袖ヶ浦市が目指す地域公共交通の完成モデルについて伺う。 ② 市内の運転免許証返納者の推移について伺う。 (2) 「チョイソコがうら」市内全域への拡大について ① 今年10月に「チョイソコがうら」が市内全域へ拡大するが概要について伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			② 運行拡大計画を検討するうえで、バス会社やタクシー会社とも協議しているのか伺う。
		2 教育行政について	(1) 児童・生徒たちのＩＣＴ環境の整備について
			① 児童・生徒が使用しているタブレット端末などの更新に向けた現状について伺う。
			② 更新に合わせた市内小中学校教職員へのタブレット端末整備について伺う。
			(2) 中学校部活動の地域移行について
			① 現在の活動状況と今後の市内中学校の部活動地域移行の見通しについて伺う。
			(3) 学校教職員の働き方改革への取組開始以降の状況について
			① 市内小中学校において、教職員の時間外在校時間数の推移について伺う。
7	15番 緒方 妙子議員	1 道路・歩道環境整備について	① 袖ヶ浦中島木更津線はアクアライン高架から国道１６号間は特に大型車の通行が多く、舗装の劣化、振動、騒音への対応として計画的な修繕が必要です。昨年度までに坂戸橋から中央図書館入口までの舗装修繕が実施されました。今年度の修繕計画について伺います。 ② 袖ヶ浦駅海側地区の開発に伴い、道路の延伸、拡幅は計画的に進められていますが、朝、夕の通勤、通学時は様々な箇所で渋滞や抜道への危険な運転が発生しています。その解消に市としてどのように対応していくか伺います。 ③ 定期パトロール等で道路維持補修がされていますが、伸びた街路樹や道路脇雑草で見通しが悪い、また信号機のない横断歩道白線や手前にあるダイヤモンドマークが消えかかり歩行者、運転する側から見えづらく、危険です。早期の対応が必要と考えますが、市の対応について伺います。 ④ 局地的な大雨による道路冠水が頻繁に発生する箇所とその対応について伺います。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		2 健康診断実施のための環境整備	① 学校での健康診断において、正確な検査や診察に支障がない範囲で児童生徒のプライバシー等に十分な配慮が行われ、児童生徒が安心して受けられることが重要です。本市の状況について伺います。また文科省の通知について学校への周知はどのように行われたのか伺います。 ② 文科省は自治体に対して地域医師会と健康診断の際の実施方法を協議し、周知するよう求めています。本市において、どのように行われているのか伺います。 ③ 健康診断は全ての児童生徒が受診できることが大切です。当日の欠席や長期欠席、個別の事情により健康診断を受けられなかった場合の対応について伺います。
8	23番 篠崎 典之議員	1 スポーツ施設等公共施設の維持管理について	(1) 市民が幅広く、スポーツを楽しむことを通して、健康で文化的な市民生活に寄与するスポーツ振興のあり方について、市としての基本的な考え方を伺う。これまでの市としてのスポーツ施設及び交流センターの維持管理・改修計画、今後の総合的な維持管理・改修をどう計画しているのか伺う。 (2) 総合運動場のテニス場について、テニスコートは、しばらく全面張り替えがされていない。夜間照明は「切れたままのライトが多く、薄暗くて使いにくい」と聞く。クラブハウスは、耐震基準を満たさず、2階にも上がれず、除去対象となっている。特にテニスコートの人工芝は、継ぎはぎの部分補修で、使用に支障をきたしている。早急に改修・整備する必要があると考えるが、昨年度に修繕費用がほとんど認められなかったという。その理由を伺う。 (3) テニス場の利用時間について、冬の12月から3月までの時期は、17時以降の利用ができない。利用者からこの期間も利用したい要望が出されている。条例を改正して1年を通した利用ができるようにしないか伺う。 (4) 各交流センターについて、雨漏り等要補修箇所が見られる。市として総合的、日常的に把握し、計画的な修繕を進めるべきかどうか伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		2 J R内房線およびJ R久留里線の安全確保と利便性向上策について	(1) 最近、群馬県高崎市内で警報器・遮断機のない第4種踏切で、9歳の児童が列車事故で亡くなる事故があり、第4種踏切の解消が注目されている。市内久留里線にも第4種踏切が2ヶ所あり、うち1ヶ所は見通しの悪いカーブの側で、近隣住民から早急な警報器設置を求める声も出ている。どちらも地域住民や農業従事者にとって無くてはならず、閉鎖することなどあってはならない。踏切の存続と警報器設置が必要不可欠である。J Rとも協議して安全と利便性のために警報器を設置しないか伺う。
			(2) J Rは、市が内房線長浦駅、袖ヶ浦駅を大規模改修する際に、一方的にみどりの窓口を閉鎖し、ホームからのエスカレーター設置を拒否した。久留里線利用者は、本来使用できるはずのSuicaも使えず、不便を強いられている。久留里線の一部廃線への動き、京葉線通勤快速減便も公共鉄道事業者として問題がある。もともと国鉄として運行してきたにもかかわらず、利便性向上に消極的なJ Rの姿勢は、看過できない。市として、どのような対処をしていくのか伺う。
		3 市職員の労働環境のあり方について	(1) 昨今、若手市職員退職、中途退職が増加傾向にあると見受けられる。その現状とこのような状況を克服するための方策を伺う。
			(2) パワハラやセクハラ、カスタマー・ハラスメント、ジェンダー平等に関する事案が、数多く社会問題化する時代になり、公務の場でも適切な対応が求められている。特にハラスメント根絶に対する本市の考え方と発生した場合の相談体制と実効性ある解決策を伺う。
9	6番 稲毛 茂徳議員	1 人口減少期を見据えた、将来に渡って持続可能なまちづくりについて	(1) 本市も近い将来に人口減少化に転ずる見込みにあり、生産年齢人口を確保するべきと考えるが、市の人口構成の現状と将来推計値および「誰もが住み続けたいまちへの取組」を展開した際の見込みについて
			(2) 本市の人口は、袖ヶ浦駅海側地区での市街地整備等により増加しているが、人口の増加による市税への影響・効果について伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			(3) 高齢化社会に対応する高齢者福祉の維持には、子育て環境の充実を図ることで子育て世代や働き盛り世代の社会増に取り組んでいると認識しているが、若者世代や働き盛り世代が求めている施策をどのように市政へ反映を進めてきたのか。
10	18番 励波 久子議員	1 食と農業・市民生活を守る行政へ	(1) 「食料・農業・農村基本法改定案」が国会で審議されていますが、改定案は、これまでの農政の反省もないまま、食料自給率を向上させる政府の責任を放棄し、食料の外国依存をいっそう強めるものとなっています。本市や農家に与える影響についてどのように考えているか伺います。
			(2) 学校給食の食材に占める市内産の生鮮野菜使用率の目標と実績について伺います。
			(3) 日本共産党袖ヶ浦市議団は市民のみなさんに昨年市民アンケートをお願いしました。暮らし向きについて、80%の方が暮らしが「悪くなった」と回答しました。この数字は、いままでアンケートを実施してきた中で一番高い数字となっています。子育て・教育の項目で一番取り組んで欲しいことが、給食費の完全無償化でした。小中学校の給食費の無償化が全国、県内でも進んでいます。完全無償化の検討を本市でもしていないか伺います。
			(4) 毎回、財政面から厳しいとの答弁を頂いていますが、中学生の給食費完全無償化を実現する場合、いくらかかるのか伺います。
		2 介護保険制度と介護の担い手育成について	(1) 高齢者の増加に伴い、介護を受ける方も年々増加しています。しかし、多くの介護事業者が、担い手の確保を課題としています。市として、どのように捉えているのか伺います。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			(2) 介護を受ける際には、まず介護支援専門員であるケアマネジャーを探さなければなりません。現状の体制では、新規の利用者さんを受け入れる状況にない居宅介護支援事業所も多く、問い合わせでも断られるケースが多くあると聞きます。介護を受けられない、介護難民と言われる人が出てしまうのではないかと危惧されます。居宅介護支援事業所のケアマネジャーの負担軽減と不足についてどのように認識しているのか伺います。
			(3) 東京都では、介護支援専門員法定研修受講料の3/4を補助しています。また、介護職員、ケアマネジャーを対象に「居住支援特別手当」を月1万円または2万円給付する取組を始めました。袖ヶ浦市でも、このような担い手確保策を検討しないか伺います。
		3 公園遊具の整備・更新について	(1) 「身近な公園の遊具が使用禁止となり1年以上もそのままになっている」という声が届いています。現在使用禁止となっている遊具はどのくらいあるのか伺います。
			(2) 新規遊具の設置を地域の方の意見も踏まえて早急に対応すべきと考えますがどのようにしているのか伺います。
11	3番 伊東 章良議員	1 袖ヶ浦市における空き家の現状とエリア対策	① 袖ヶ浦市内に存在する地域毎の空き家の数と今後も含めた推移状況について
			② 市が行っている空き家対策の具体的な内容とその対策の効果について
			③ 空き家になる物件の再販価値の向上について
			④ 価値を下げないための地域エリアの取組について
		2 袖ヶ浦市における農業後継者問題と遊休地対策	① 農業後継者不足の地域毎における現状とその要因の把握、解消に向けた取組について
			② 遊休農地が増えることによる地域社会や経済への影響。また、市内地域毎の現状とその支援対策について
			③ 物価高騰における市内農家への影響と市の対応策や支援策について

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
12	19番 佐藤 麗子議員	1 防災対策について	2024年4月3日に台湾の東部沖を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生した際、わずか2,3時間で避難所が設営され、その充実ぶりが話題となりました。この迅速な対応のカギは官民連携によるものだと聞いています。 袖ヶ浦市においても、いつ起こるかわからない災害に備えて、台湾の例を参考にし、平時からしっかりとした対策をとる必要があると考えます。具体的に以下の点について伺います。
			(1) 官民連携の強化 袖ヶ浦市は、官民連携を強化し災害発生時に迅速かつ効率的に避難所を設営するために具体的な計画を持っているか、その内容と実施状況について伺います。
			(2) 災害協定の締結 現在、市内の企業やボランティア団体と災害協定をどの程度締結しているのか、また今後どのようにしてこれを拡充していく予定か伺います。
			(3) 避難所の改善 台湾の例に倣い、避難所の設営において、プライバシー確保や適切な休憩・食事スペースの設置、冷暖房、Wi-Fi設置などの改善策を検討しているなど具体的な取組を伺います。
			(4) 防災訓練と備蓄 定期的な避難訓練や防災備蓄について、現在の状況と今後の計画を伺います。また地域住民への防災教育や啓発活動についても伺います。
			(5) DX化の導入 防災でのDX化を進めるために、マイナンバーを活用した避難所管理の効率化について、市としてどのように考えているか伺います。
		2 まちづくりにについて	臨海スポーツセンターについて (1) サウンディング調査の結果 サウンディング調査はどのような結果となりましたか。具体的な調査内容と、調査に基づく分析結果を伺います。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			(2) 今後の方針 調査結果を踏まえて、臨海スポーツセンターの今後の方針についてどのような計画がたてられているのか、具体的な施策やスケジュールがあれば伺います。
			内陸部のまちづくりについて
			(3) 内陸部のまちづくりの考え方 内陸部のまちづくりに対して、市はどのような基本的な考え方をもっているか、地域の特性や住民のニーズを踏まえた上での方向性について伺います。
			(4) 工業団地誘致の可能性 内陸部に工業団地を誘致することについて、市はどのように考えていますか、またその可能性について検討したことがあるか、あるいは今後検討する予定があるか伺います。